中院家聞書

特別
へ 4
8194

中院家蔵書

へ4
8194

中院内府通茂公
口傳

立春ハ去る立日をいふ之ハ年去ハ六十ヶ年ハ
十ヶ年まくをいふ毎年立春ハ年去ハ六十ヶ年
准し立春ハ立春の前ハ年去初春ハ年去
年ハ初春ハ年去ハ立春ハ年去ハ立

新井之太郎の事
撰士記捨桐新井といふ所の遠情はさらにわとらふ
三日月とうらの不審元月の
幽情幽思は新源くらうの
うらとなりて　志野はたとの
事に物あり月なりし事
ての表白也雨もいり事
潟はとの字之俗にて潟
之字なるし　深が城は郡の事
なの川うらのふる叢潟のふ
ちなたて神とうみをもう
とも伊勢の事也にて苔
よりの歌　物語同事
物語はたとの事中院義陽院かくしかり
事に義時はくとうの月
院の奇はくとうの月
院はとの俗にて潟
兼寺は古寺之俗にて
ちしの歌　裁苑とは歌
かとはふかい也まも
野本字後字の文字なり
山家山寺山鑑なれり事
おし大きなる物之野
なり野名は後名又一
を家之井ようなる仏
井をかしたくもなる
水鏡とは歌水鏡は
物語はたとの事中院義陽院かくしかり
事に義時はくとうの月
院の奇はくとうの月
院はとの俗にて潟
兼寺は古寺之俗にて
ちしの歌　裁苑とは歌
かとはふかい也まも
野本字後字の文字なり
山家山寺山鑑なれり事
おし大きなる物之野
なり野名は後名又一
を家之井ようなる仏
井をかしたくもなる
水鏡とは歌水鏡は

遠ふ星とをしかり田家田星の長ふ星ハおほく家有
ふかり蘭中蘭族ハ月と事をたく旅と初をうり
同事也何のふをもしかり不浴海路ハ海色ふり
ふ路ハ川面をとしかふ和名抄路板路雲のかを板路
ふ武蔵ふくもかりをんの物語ふくもかりふ物語
ふ人蔵人ふくもをかり人ふくもいりをたくもいふ
物ふ物ハ物有ふとしかふをたくもふ色ふ星ふり
恋窓ハ人ふくもふふり陽恋ハあつ物ふとかくをこ
浅物窓高ふ恋物高恋ふ恋ハ三ともふ日意ふ久恋後年恋
ふ不逢恋ハ四恋ふ逢不逢恋ふり怨恋恨恋日
事也契恋ハ契約ふり演恋ふ我をのしこ逢後ふり
誓恋ふ佛祈ふうけくふふり恋愛愛ふり
恋邪恋又ふり奇恋邪恋又恋ハ実ふ多又と

ふしふ海色恋ふ物行ふくもしむ海ふ
ふふ時ふくもふふ孫他人窓借人名ふ事ふり
負人窓ふ人ふふくふもふふ恨利ハテニヲハふふと
しふふ恨絶恋ハ我恨ふふ事ふ人の絶ふふ答言
窓ふふ家を人ふふふふふ不演恋ハ人の契ふを
ふのふふふふ絶後不逢ふふふふ不逢ふ
ふふふふふ恋ハふふふふふ事ふふふふふ
なふふ寄借馬ふ恋ハ借ふふふふふふふふ
恋恋ハ人の位ふふふふふ訓恋ハ人ふふ蒲ふふふふ
物恋ハふふふふふふふふふふふふふふふ
有ふ武人ハ弟ふ同之ふふふふふふふふ
書分ふ物ふふ

三代集詞の事抜武人同之

神とゐらせ給ふ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

武人通義の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一瀬ノ[illegible]　松ノ[illegible]　河ノ[illegible]　河ノ[illegible]

殘ニ水り　深山　帰ル　三月尽

芭蕉稿　[illegible]　[illegible]　松樹

[illegible]　[illegible]　文同

書　[illegible]　[illegible]　文書

祝言　奉幣　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]

雪もはらはらとふるやうのうち杉ふく寒白ぬ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

旬小弁参ゐ[illegible]御所の旬とて[illegible]
[illegible]れの色ふかくそめたる[illegible]
なりけりとて[illegible]の板田橋といふ
[illegible]やゆゑ[illegible]
[illegible]ぬ身の[illegible]
[illegible]日の御代[illegible]
[illegible]
[illegible]源氏物語[illegible]
[illegible]
[illegible]

幸仁親王ゟ被仰出候ハ
ゝ
みと我ゟ
なの人とハ我ゟ
ゟ
ゟ

あり一隅三間板敷なれども
はりもくはあらたに新調のものなり
こゝやはり所謂府通殿なり
やうのものなれども
至て作り
こゝふれも何とも
いとまなく
下部より作
めて帰りやはりものとも
ものとなるべくもあらず
はりもくはあらたに
たくさんのもの

第八のもの
歳暮なるも立春
前ふまれ利
りもれそるわ
女の
わるや
りのこ
ゆくは
雨
初
八月十
られ

如なりけれ舟いくつ作られ川くま
いくつも武大橋のあり新あ不あらつ
ゝとゝ云さまそ
ゆゝあの字ゝてゝいふゝ所世ゝ

一川星　川橋　板橋　矢田野
橋所　ゆゝつれ　石ゝ　橋ゝ者
さゝの糸　志ゝ　石草演　のゝく桃のふ
素ゝ　八木橋素　民草　ゝゝ所
文ゝ　大井　みゝ草　遠星
年ゝ　ゆゝつ　みゝ河　夜深森

星の石と桜月にまいふ山城のゝらのゝゝいく
すゝう紀ゝ舟第ゝ木ゝう柳源の
さゝゝつゝい草の夫石ゝ所ゝも今いらまゝゝ
詩歌の会ゝ随ゝ唐大和の故ゝ物ゝ添ゝ

詩のゝゝとゝみゝゝ知ゝ
酒吞郷酒泉の舟小苑と岩ゝけてゝまれと
酒殿公酒泉ゝゝ苔ゝ物ゝ酒ゝ
小ゝ酒殿有ゝ小道至院の今ゝ作ゝ道至院
さゝゝ作ゝみ重ゝつゝ世ゝ岩ゝゝ世ゝ
ゝゝ世ゝ坂ゝ道ゝゝ坂ゝ世ゝ作ゝ道ゝ世ゝ
より紀ゝ海殿前内府酒柳の香ゝゝゝ
ゝ所ゝ川本浪ゝゝゝ浦風代宮初ゝ今ハ
けゝゝ世ゝ坂ゝ所ゝ作味ゝ今ハ作ゝ今ハ
取会ゝゝゝ酒ゝ作ゝ古の泪ゝ今ハ
ゝ物ゝゝ作ゝ古の泪ゝ今ハ
作ゝ物ゝ歌ゝ酒ゝ作ゝゝ作ゝ
作ゝ別の事物ゝ常ゝ作ゝゝゝ亦窺投

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

年ごの物がたりなどつゝ笛の横笛とかき
事ゆゑとてうとゝ書しに俤をたゞしくとて行ば
宣孝の日物語ゆゑ若きは古ごとを引て是をもて
小くれなりゆゑ三ちゝ所ねとの作ごとを所古ごと
なりしてゝ是をなしく一首くの義理とは人ねゝ後
をゝ作者をもなりとゝ河と宣孝の世のゝ
きやけものし作者ゆゑ作者地名とゝ俳諧
ひとをかなとゝ仮名字とゝ又ものをかの
を河とすゝ又ものをかれるゝ
いとゝとゝ作三条西實隆卿ゝ北河ゝ今ゝ公方
北月のゝ仮名ものをゝ引ゝとゝ
人ゝゝゝ引ゝ河ゝ所ゝ
の後ゝく有ゝ又ゝ

ゝを引ゝ後ゝ作者の後ゝ
ゝ遠ゝ作ゝ場ゝ遠ゝ
幸隆ゝ公ゝ
ゝ作ゝ三条西ゝ
ゝ作ゝ場ゝ
ゝ作ゝ
何ゝ物語ゝ作ゝ
ゝ作ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
殿ちゝ[illegible]物語[illegible]慶法師後水尾院の
御ケイトウ[illegible]通村ハ[illegible]源氏物語[illegible]
時[illegible]不定[illegible]ふ髭[illegible]
[illegible]明[illegible]
[illegible]
[illegible]拾遺[illegible]
[illegible]
[illegible]拾遺[illegible]
[illegible]寄相殿[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

世にかくれなくつかまつりけれども
なほりて行くてふ武人の行くこと法師も俗人を
捨てと世にあらく詞のたがへるもの法師あつて
いやなきこと之を詞に可用用ひてもくちなれぬ紀逸
ひとつの能に新古今に能くかなへる
おほくはうしに和文にかなへる歌集にはいや
てもとめはいと行くぬ筆のもとにあるこのごとく
はまのまはいとけなくまゆのとくとけるもの
うるはしかりしの春風雲風と菊はいまうふ
屋くしてもに琵琶に不安訓に佛名にはあらぬ
枝葉のうへに武人のみしかしこ法師
ことたに能のこと者不安及に可
ものよたとる俗くに日と後に所者のたやすくそんに

ちうに時くに常のたの者と所のたくえ
むとくく雷ちふるとふいくかくいと歳に歌
見ものくに家かと伊中に大つ
必に作後撰七秋下貴之家
なのの家ふに人ことりくやせ
屋のうくに所に場後に定家のつつれる詞を
ひくふらの家不お家こと池蛙
所くちの今軽に蛙蛙池をかれ
りのくとふくに安家のくに池をかれ
きくとれ能に仁八月十六日敬生房ちに清盛法
の大守ちに法ちに新中に定家の家に所白
能りは後白人のうに庵に時白ちに祭代白人能
うくくに大納言源頼朝に時代

神もかりあつまりて居るべうもなれいまんとてこそ
行幸のあるべき色ゑ深き御ものがたりとて行幸の新宮行幸
なるべき事にて通夜行幸あり
来るべきと仰[白氏文集]
小文十首まれにあるべきと白氏文集の序に柏木の巻
文十八を十九枝にかけるもこれにあるべし
りふ書にあるべと仰幸隆に仰白氏文集の序
をもとめ出すべき事も奇特にて
ぞ白氏文集の序に柏木の巻の
白氏文集の柏木の巻つとめたる[源氏]
源氏[野宮殿]
源氏の筆[源氏]
をつかはしたりけんは[白氏]
[白氏]
[白氏]
[白氏]

西実殿[源氏]
[源氏]
[源氏]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

伊勢物語二段集のうち古歌とおぼしきものの多くは上句はいとよく伊勢物語の歌と同じ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

殘菓ニ[illegible]ヤ又ハ[illegible]杖の菓ニ[illegible]ハ[illegible]
黄紙の[illegible]ハ[illegible]
又ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]
いつもの[illegible]
表紙加列[illegible]
[illegible]
[illegible]
菓の祈[illegible]
[illegible]
[illegible]
玉菓[illegible]

[illegible]
いつもの入[illegible]
謙天[illegible]
仏洞[illegible]
[illegible]
[illegible]
天[illegible]
人[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

法橋と称するようになったる物語に世間をしれいとうふかく感ずる
仏法を学び授法を聖法に経ける法を学ぶ学業
花宮元上人方授乃授法を聞きて
天下を学ぶに多くの人々あり
部屋をとるに本数したる
八武家の世をうるおすに
とおもふも実数の流る音郷の地理のうち
通義公内府新法の宮方宅
義八内へ今てて年事に
八法寺周防と毎年事ア振
王威うるおなりたること
崇徳院をやく濃位世
府に周防と河内かられ

日本にて第一の長寿八武内宿禰
生おそる所八十七人今も
しるしとなる所
生ずるて天子の法内
此法院に授法の人に八授
授法大寺にて授光明院八師師花
を石として形ちの中せて
封業及第させてみ
人も代代に初めて
なるに光人にてつ
皆宮殿法院に土
遊の授ものに良民
御民も衣授八

と云説稲葉系図にはあれども今の
世にあり昔の世一世と云ふ説
源氏物語桐壺の巻源氏物語の時彼方之十余
歳なりしとき一条禅今の世にあるべきなり
故なり又長恋の人院宣伝へしに彼方の
ごとく源氏の例に行ひ給ひ
桐壺巻源氏の彼の和歌
世にあるべきの例に龍とよみ給ふ
を行ふも入る杉の根へ今を杉と
分ゆるに杉なりとは
なり内侍宣白粉を付給へ
ふ詠ふ内侍宣白粉を付給へ
に行ふ説僻事なり
人につかふ
王上の内侍に行ふ
紫式内侍

人にあれば人御門きの人にて
川り桂と御簾を
きの人と
此説
桐つの説の
とふ
説ふ
僻ことに上
を
動
説
説
説

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

仆とハ別の地ニ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の上を流れてゆく拾遺に云ふ因幡百首の中に
[illegible]川の名やとて定家卿の自撰にも入れたる
[illegible]不千歳とて作因百首の歌
[illegible]
[illegible]さかれて　[illegible]
[illegible]百首の中に[illegible]
[illegible]
天子[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

そこ小別ちうく物ひゆくきうこと和歌
和歌ゆゆしきうかいこの花さき散ふる人の世のうき
と人うそうそうう人年齢かしこ今はし
遺百年のうち海の移り行八重桜香留神桜のこ
こ世こうこ保永神小こ白の香やいうくまに世松こ
白ひ香同こう白ひの香こ小こ世こうこ世のう
源氏大概こ小古事 みの白の中友こ白瀬世こ跡来
和歌こ白和こ白こ世こ世こ和歌神こ
こ白世こ桜の白こ世こ桜こ世こ世こ世こ
世こ世こ世こ桜の白こ世こ桜の花もこ世こ
世こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ
新古今桜 世こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ
世こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ
世こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ

世中の移桜の桜こ世こ世こ桜の花もこ世こ
みこ世こ桜こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ
こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ
世こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ
世こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ世こ

和文に示寛隆てゝ為うて御おうて八たを作り
古社風の詞をもちゆゝこと幸に御作りて和文
にてゝ作れるを見てゝ為の御作若葉の幸源氏若葉乃
を見てゝおもしろくて煙草をすゝめらるゝの花のいと
まぜかきの方席とやうひらをんらの花のいと
おり給ふことを給へて入くことの方ふ杉ふ
入くことの方ふ杉ふ
是後のてゝ三條川三條川の幸しるを杉と
ひとを見のていつて行ひのてゝ杉地藏年
教經を尊初開之男子令枝之源氏源氏
杉杉市市のゝ池ひうひけ杉ふ
之ひ杉のてゝ拾遺元年に
ひ杉のゝ流ゝ三條川永ふかと地やいゝ

杉ふゝ作理年寛一杉ふ
ゝゝ杉の流ゝ杉ふ杉杉
ひふゝ杉ふ杉ふ
ふ人も御所御所
ゝ富新杉風
ひ杉ふ杉杉
新撰風杉新撰杉
文ふ本の新ゝ葉ふ
さゝ杉ゝ杉ふ
ゝふ杉ふ杉ふ
ゝ杉の杉ふ杉ふ
ゝ杉ふ杉ふ
ゝ杉ふ杉ふ
ゝ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]九月[illegible]月[illegible]
来園とつゝしことを[illegible]の[illegible]の月の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中ごろ祭りもうらやましく侍ら
若宮の有嶮東寝見老人情事なるの歌
ばかりの人は物見知の人と歌とを
作のつくるに物語りの
やうもしらぬ人ばかりなるに
世をうて作言葉いとめでたし
人おのづからこれを世に
を世に出る色紙とふ大きなる
行ゆくに以ての世の
色紙を書きて天智天王
ら明の後白河順徳院の
なるものとこそ
世に出る

世のよしなしごとも歌に
須ふるとこそいへ
先ずひとの我ばかりの
時ごろの和歌
ばかりの人の
ばかりの
ばかりの
ばかりの

[illegible]

後成の松ハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

後撰集

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一年壹度宮[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右一冊者六宮御筆隆俊為中院家與人多年
[illegible]秘説[illegible]書之[illegible]雑説不合者略
[illegible]年完覧

寛保二年十月